

第9期
報 告 書

2017年4月 1日から
2018年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

2017年度事業報告書

当会が一般財団法人として発足し9年が経過し、協会外部への動きをより意識した年となった。

主な主催事業としては、全国大会2大会の初会場での開催、海外の異なるルール of 団体主催の国際大会への選手派遣が挙げられる。

財政面の影響としては、2016年度に続き指導者関連の資格取得者の大幅な伸びによる会員収入増加が目立った。全国大会においては、開催地コンベンションからの支援内容と開催地の意志を重視して計画を進め、製作物の内容・販売方法をさらに見直した。また、他各事業に於いても収支のバランスの取れた実施を目指したことにより安定している。

ただし、小学生競技チーム(D1・D1G)登録は引き続き減少しており、春の全国大会では推薦チームの無い県も発生した。シニア競技者についても制度構築に難航しているという課題も残された。

事業規模の拡大に伴い、必要な情報や人材が内部のみでは不足している状況も生じており、今後もバランスをみながら協会外部の組織との連携をさらに模索していくこととした。

1. 全国競技会

① (小学生) 全日本ドッジボール選手権 (夏)・春の全国小学生ドッジボール選手権 (春)

2017年度も、地元コンベンション・コミッションとの連携を意識して準備を進めた。2年連続となる夏のさいたま市においてはコミッションの助成金を受け、また、春においては、新設会場のオープニングイヤーイベントとして津市共催による会場使用料免除での開催となった。

参加チーム構成としては、夏は全都道府県代表の参加となったものの、春について青森県から代表チーム選出が無く、全都道府県からの選出には至らなかった。大会全体の収支には大きな影響は無く引き続き安定しているものの、実質的に協会活動の土台となる大会の為、再生に向けての取り組みも必要となった。

		 スポーツ振興基金助成事業 <small>独立行政法人日本スポーツ振興センター</small>
日時	2017年8月13日(日) 9:00~17:00	2018年3月25日(日) 9:00~17:00
会場	さいたま市記念総合体育館(Vアリーナ) 埼玉県さいたま市	津市産業スポーツセンター サオリーナ 三重県津市
共催		津市
助成団体	さいたま市スポーツコミッション (公財)ミズノスポーツ振興財団	(スポーツ振興基金 (公財)ミズノスポーツ振興財団
参加チーム人数	47都道府県より48チーム 選手 小学生男女3~6年 802名 指導者 143名 他 台湾協会より1チーム (招待試合)	46都道府県予選代表48チーム 選手 小学生男子・女子3~6年 830名 指導者 142名



尚、普及事業として例年実施しているSMILEドッジスクールは、全国大会開催地での普及促進を目指し、今年度は2018年2月12日(日)に三重県四日市市で実施した。小学生未経験者25名、経験者42名が参加し、代表選手から技術を学んだ。

②2017J.D.B.A.全日本選手権



中学生以上の競技者を対象に、2014年よりブロック予選を伴った形で開催している。初会場のスカイホール豊田に、東北ブロック～九州ブロックまでの8ブロック代表32チームが集まり、小学生のプレイスタイルから進化した熱戦が展開された。現在はこのカテゴリーの協賛企業は無く、大きな変更は困難なものの、小学校卒業生の増加に応じて、競技者層の柱となるよう、引き続き計画を進める。審判員・運営スタッフは60人程度と小学生全国大会に比べて小規模ではあるが、地元愛知県協会を始めとした東海ブロックの多大な協力により、滞りなく実施された。

大会名	期日	会場名	参加チーム数
2017J.D.B.A. 全日本選手権	2017/10/1	スカイホール豊田 愛知県豊田市	北海道を除く8ブロック代表32チーム (予選参加94チーム)

③第4回全日本女子総合選手権



2014年度より、小学生～社会人までの女子選手の総合大会として実施している。

2017年度は、今大会としては初となる、静岡県静岡市での開催となった。静岡県協会を中心にブロックの協力体制も万全であり、

事業内容としては、前回に引き続き、競技会に加え、ドッジボール日本代表選手によるマレーシアでのアジア予選報告会・練習会を実施した。

多くの小学生選手にとっては引き続き好評であったものの、純粋な競技会を望む選手や、特に日本代表選手の立場と今大会参加チームとしての立場が重複する者にとっては、モチベーションの維持が非常に難しいという課題も生じた。

大会名	期日	会場名	参加チーム数
第4回全日本女子総合選手権	2017年12月9日～10日	このはなアリーナ 静岡県静岡市	女子小学生(D1G)都道府県代表32チーム 女子中学生以上(シニア)ブロック代表12チーム

2. 競技委員会

主催大会では競技運営を円滑に行うと共に、ルールの徹底、審判員の資質向上のため諸施策を実行した。常任委員会では審判員育成課題等、競技全般に関し情報交換、研究、検討を行い、全国大会時における審判クリニックでは各地域から派遣される審判員を通じ全国への周知を図った。

B級公認審判員認定講習会

開催ブロック	開催日	開催場所	受験者	合格者
北海道	2018/2/10・11	北海道立野幌総合運動公園(江別市)	3	2
東北	2017/8/14	岩沼市立岩沼西小学校(宮城県)	11	5
関東	2017/10/30	群馬県安中市立磯部小学校/信越化学工業体育館(群馬県)	15	4
北信越	2017/11/4	長野市立古牧小学校(長野県)	16	3
東海	2017/9/24	名古屋市立港南中学校(愛知県)	6	3
関西	2017/10/29	大阪市立柴島中学校(大阪府)	6	1
中国	2017/9/3	廿日市市立平良小学校(広島県)	8	3
四国	2017/12/10	東温市トレーニングセンター(愛媛県)	11	7
九州	2017/6/25	北九州市総合体育館(福岡県)	8	1
計			84名	29名

半数近くを占める再チャレンジの受験者に関して、前回受験後の是正(フィードバック)及び対策他が効果的に実施されていない傾向が伺えた。次年度からは、中央研修会で実践した指導内容等を基に受験準備段階における事前研修の方法や指導内容面に関する見直し(精査)を図り、また、指導ポイント要領の伝達を実施すると共に受験者本人の努力(向上心)を踏まえた上での推薦(見極め)を行なう様、確認を行った。



一方でC級審判員は増加し、審判員資格者総数は3700名を超えた。指導者講習会参加を機に新規取得・再取得する例も多いため、一時的な増加で追わずに資質の底上げにも繋がるよう今後も取り組む。

3. 普及委員会
ビーチドッジボール

JAPAN BEACH GAMES Festival 2017	2017年5月4日・5日	お台場海浜公園 お台場ビーチ
第2回ビーチドッジフェス ティバルオキナワ	2017年11月21日	沖縄県豊見城市豊崎・美らSUNビーチ

体育館以外へのドッジボール普及を目指し、5月には日本ビーチスポーツ振興協会の主催事業へ参画、11月には沖縄県の地元団体他と合同で、ビーチドッジボールを実施した。

たまたま海岸に訪れた親子や、他のビーチスポーツの選手の参加もあり、開放された環境と手軽にできるというドッジボールの特徴を存分に活かすことができたが、今後、ビーチスポーツとしてどの方向に広げていくかが課題となった。



4. 指導委員会

準指導員（区分II）の最終段階として集合学習④を2ブロックにて開催した。

集合学習①～④+ 考査（実習10時間+レポート提出による審査）に合格し、日本体育協会の共通科目以上の科目を修了した者は、本協会独自資格ではなく、日本体育協会公認のドッジボール指導員として認められることとなる。

公認指導者講習会 集合学習④ (対象は公認準指導者資格区分I取得者のみ)	2017年10月22日(土)23日(日) 島田市金谷体育センター 島田市金谷生きがいセンター夢づくり会館	合格者11名
	2017年11月10日(土)11日(日) 須恵町活性化センター	合格者13名

年度当初に予定していた中国ブロックが先送りとなるなど、区分2としての講習会参加者数は停滞している。

但し、指導員全体に関しては、移行期間3年間の有資格者は2200名以上と、当初の目標を大きく超えており、制度全体としては義務化による後ろ向き取得者ばかりとは考えにくい。

指導に関する情報を求める要望自体は決して低く無いと考えられ、2018年度からは取得者に対する更新講習(義務研修)等で受講要望を分析しながら資格の価値を高めていくこととした。

5. 他、専門委員会以外の事業

協会広報紙の製作(総務・広報)

加盟協会協会内外に向けた広報紙を製作し、協会員・地方公共団体等へ発送した。

2016年度から目標としていた、全国大会・会員向け事業以外の情報掲載による協会外部へも関心を広げるといった要素に合わせ、今回はキルギスでの青年海外協力隊の活動も取り上げた。

The collage features several JDPA publications:

- JDPA インフォメーション**: A monthly newsletter with sections for '協会からのお知らせ' (News from the Association), '2017年度大会結果' (2017 Annual Meeting Results), and '2018年度大会予定' (2018 Annual Meeting Schedule). It includes photos of various tournaments and lists of participants.
- ドッジボールニュース**: A larger newsletter with a prominent headline 'ドッジの世界を広げるために' (To expand the world of Dodgeball). It features articles on national training camps for men's and women's teams, and reports on international events like the Asia Pacific Championship 2017.
- JDPA 協会からのお知らせ**: A smaller flyer or notice page with contact information and event details.

日本代表活動事業(強化委員会)

①2017日本代表トレーニングキャンプ（トライアルキャンプ合同開催）

日本代表選手団派遣、及び選手強化に向けた事業を実施した。

当初、代表選手以外の参加希望競技者を対象としたトライアルキャンプと、2016日本代表選手を対象としたトレーニングキャンプを別々に計画していたが、相互の意識の向上が見込めるため同時開催とした。

事業名	期日	開催地	参加者数
2017日本代表男子トレーニングキャンプ +トライアルキャンプ	2017年 11月4日(土)5日(日)	グリーンヒルズニューみなみ 山梨県南都留郡	選手30名(O13のみ) 審判/スタッフ15名
2017日本代表女子トレーニングキャンプ +トライアルキャンプ	2018年 2月10日(土)11日(日)	名古屋市青少年宿泊センター 愛知県名古屋市	選手28名(O13のみ) 審判/スタッフ14名



②ASIA PACIFIC CHAMPIONSHIP 2017 (アジア環太平洋選手権)チーム派遣

世界ドッジボール連盟(World Dodgeball Association)が2018年に開催予定している世界選手権のアジア予選に代表選手を派遣した。

かねてより団体の存在は把握していたものの、大きくルールが異なることもあり交流を避けていたが、東京オリンピック及びその後に向けた国のスポーツ政策に合わせて、ドッジボールの多様性に接する良いきっかけと考え、今回の参加を決めた。

WDA ASIA PACIFIC CHAMPIONSHIP 2017直前合宿	2017年9月9～10日	山梨県 鳴沢村民体育館 合宿所 森の家 久野屋
WDA ASIA PACIFIC CHAMPIONSHIP 2017	2017年 9月29日～10月1日	Axiataアリーナ (クアラルンプール・マレーシア)

相手団体のルールの翻訳から始めたため試験的な意図も強く、カテゴリーは経験者がいる19歳以上の男子のみ、役員スタッフも最小限の人数、事前合宿1回のみで挑んだ。

正式結果は3位決定戦で敗れ4位と、惜しくも本戦出場の3位以内を逃してしまったものの、大会日に急速デモンストレーションが決まるなど、日本の挑戦が称えられた大会となった。

2018年世界選手権には招待カテゴリーでの参加権利を得て、東アジア圏以外の海外に両ルールを共に広げていく大きなきっかけの役割を果たしている。



6. 会議の開催状況

①評議員会

会議名	開催日	主な審議事項
定時評議員会	2017/6/29	2016年度事業報告・収支決算の承認
臨時評議員会	2018/2/18	2018年度事業計画・収支予算の承認・役員解任の承認

②理事会

会議名	開催日	主な審議事項
第1回	2017/4/16	(2017年度ミズノスポーツ振興財団助成金贈呈式) シニア・女子全国競技会の位置づけ確認 各事業の中期展望の確認
第2回	2017/6/18	2016年度事業報告・収支報告の承認 第27回夏小全国大会・2017J.D.B.A.全日本選手権・第4回全日本女子総合選手権状況確認
第3回	2017/9/3	第28回夏・第28回春小学生全国大会開催地承認
第4回	2017/10/28	代表選手団(U-12男子)承認 シニア全日本競技方法確認
第5回	2018/1/8	2017年度見通し、役員処遇検討
第6回	2018/2/24	春小全国大会準備状況確認 2018年度全体事業計画承認

③加盟団体代表者会議

2017年度は、第4回全日本女子総合選手権会場の設営時に並行して実施した。全国大会の予選(ブロック大会)、及びシニア・D2に関する設計に関して加盟協会間での競技を行った。意見を持ち帰り、2018年

2017年12月9日	このはなアリーナ主催者控室()
------------	-----------------

8. 他団体への派遣事業

当協会主催事業以外に、他団体との合同での事業、または代表選手派遣活動を進めた。

❖ ビズドッジ

2017年11月17日	首都圏ポスティング組合事業「いい届」杯ドッジボール大会
-------------	-----------------------------

組合内のレクリエーション・企業の福利厚生の一環として、全く異なるルールを試験的に実施・提案している。全員がプレイに参加する事を意識し、外野に出たらほとんど動かないままゲームが終わるという状況にならないよう、内野外野の交代は前後半の切替時のみに制限し、全員が体を動かすことに比重をおいたポイント制のルールで実施している。



❖ 2017スポーツ祭り (<http://www.joc.or.jp/event/sportsfestival/>)

(主催 文部科学省、(独)日本スポーツ振興センター、(公財)日本体育協会他)

今回もオリンピック・アスリートの一員として3名を全体行事に派遣した。午後からはドッジボール教室を行った。例年80名以上の小学生が応募し、安定した運営となっている。

2017年10月9日 (月・祝/体育の日)	味の素フィールド西が丘 (東京都北区)
-----------------------	---------------------



❖ スミセイアフタースクールプロジェクト (<http://sumiseiafterschool.jp/about/>)

住友生命相互保険相互会社・NPO法人放課後アフタースクールが主催している、本プロジェクトは4年目を迎え、常設の「健康」プログラムとして5会場での実施となった。

各会場40～80名の参加があり、同プロジェクトの中で最も希望の多いプログラムとなっている。

選手のスケジュール管理・開催地の選定に関する方針・開催場所の学童クラブと学校間の情報連携の未整備等から調整が難しいものの、逆に実施数拡大の声も強く、技術面以外の選手の資質向上も見込めるため、2018年度も引き続き実施する。

2017年8月4日(金)	蛭沢小学校(青森県上北郡)
2017年8月25日(金)	太閤山コミュニティセンター(富山県射水市)
2017年12月27日(水)	東郷学園(宮崎県日向市)
2018年1月18日(木)	波多見小学校(広島県呉市)
2018年3月28日(火)	桂城児童センター(秋田県大館市)



※写真はスミセイアフタープロジェクト活動ブログより転載。

第9期

計 算 書 類

2017年4月 1日から
2018年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

貸借対照表

2018年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	22,263,417	12,303,292	9,960,125
商品	3,610,052	1,054,716	2,555,336
立替金	0	10,180	△ 10,180
未収入金	5,225,390	12,244,311	△ 7,018,921
流動資産合計	31,098,859	25,612,499	5,486,360
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	1	1	0
ソフトウェア	12,250	85,750	△ 73,500
保証金	414,000	414,000	0
その他固定資産合計	426,251	499,751	△ 73,500
固定資産合計	426,251	499,751	△ 73,500
資産合計	31,525,110	26,112,250	5,412,860
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,740,356	4,535,332	△ 1,794,976
前受金	646,160	1,200,334	△ 554,174
預り金	88,296	659,937	△ 571,641
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	523,900	365,400	158,500
流動負債合計	4,068,712	6,831,003	△ 2,762,291
負債合計	4,068,712	6,831,003	△ 2,762,291
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	27,456,398	19,281,247	8,175,151
正味財産合計	27,456,398	19,281,247	8,175,151
負債及び正味財産合計	31,525,110	26,112,250	5,412,860

損益計算書（正味財産増減計算書）

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

（単位:円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
事業収益	11,195,148	20,307,679	△ 9,112,531
登録料収益			
チーム登録料収益	4,419,000	4,620,000	△ 201,000
受取会費			
協会員受取会費	28,025,000	25,186,000	2,839,000
役員等受取会費	660,000	690,000	△ 30,000
加盟協会料収益			
加盟協会料収益	2,400,000	2,400,000	0
スポンサー料収益			
スポンサー料収益	8,475,334	8,286,166	189,168
販売収益			
販売収益	15,929,370	10,908,141	5,021,229
検定料収益			
公認球検定料収益	1,166,400	2,073,600	△ 907,200
手数料収益			
手数料収益	1,586,231	1,635,028	△ 48,797
受取補助金等			
受取助成金	4,203,000	12,448,000	△ 8,245,000
雑収益			
雑収益	813,585	1,444,570	△ 630,985
経常収益計	78,873,068	89,999,184	△ 11,126,116
(2) 経常費用			
事業費			
謝金	647,137	869,000	△ 221,863
旅費交通費	9,476,626	16,139,109	△ 6,662,483
宿泊費	3,582,439	4,873,272	△ 1,290,833
事業支援費	18,185,500	15,947,100	2,238,400
事業大会視察	0	15,280	△ 15,280
貸借リース料	1,339,680	1,963,328	△ 623,648
制作費	6,623,633	6,470,433	153,200
用具費	871,111	3,609,183	△ 2,738,072
通信運搬費	1,911,293	2,616,851	△ 705,558
印刷製本費	3,798,286	2,449,551	1,348,735
事業消耗品費	3,184,681	4,905,676	△ 1,720,995
事業雑費	995,697	5,095,692	△ 4,099,995
管理費			
給与手当	7,737,608	6,713,580	1,024,028
通勤費	452,884	396,024	56,860
法定福利費	1,128,404	1,108,751	19,653
福利厚生費	72,960	62,160	10,800
賃借料	3,282,997	3,163,336	119,661
リース料	209,952	209,952	0
旅費交通費	1,208,260	1,127,168	81,092
通信費	406,306	398,784	7,522
運賃	827,727	871,623	△ 43,896
発送業務委託費	69,392	43,416	25,976
消耗品費	422,096	223,954	198,142
顧問料	1,000,000	1,000,000	0
業務委託費	642,600	291,870	350,730
会議費	16,500	0	16,500
接待交際費	334,441	262,286	72,155
水道光熱費	339,456	337,699	1,757
諸会費	466,000	466,000	0
租税公課	996,700	806,300	190,400
支払助成金	0	100,000	△ 100,000
減価償却費	73,500	237,650	△ 164,150
雑費	324,051	269,375	54,676
経常費用計	70,627,917	83,044,403	△ 12,416,486
当期経常増減額	8,245,151	6,954,781	1,290,370
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	8,245,151	6,954,781	1,290,370
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	8,175,151	6,884,781	1,290,370
一般正味財産期首残高	19,281,247	12,396,466	6,884,781
一般正味財産期末残高	27,456,398	19,281,247	8,175,151
II 正味財産期末残高	27,456,398	19,281,247	8,175,151

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品……最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産……建物 は定額法、建物以外は定率法
無形固定資産……定額法
- (3) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式で計上している。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	10,011,600	10,011,599	1
ソフトウェア	1,774,500	1,762,250	12,250
合 計	11,786,100	11,773,849	12,251

3. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	BS上の 記載区分
補助金・助成金						
加盟団体助成金	日レク	0	100,000	100,000	0	—
2017年度ジュニア育成に対する助成金助成金	ミズノ財団	0	500,000	500,000	0	—
スポーツイベント開催助成金	SSC	0	1,000,000	1,000,000	0	—
平成29年度スポーツ振興基金助成金	スポ振興	0	2,103,000	2,103,000	0	—
平成29年度スポーツ普及奨励助成金	スポ安	0	500,000	500,000	0	—
合 計		0	4,203,000	4,203,000	0	

財産目録

2018年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高		41,386	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店	2,118,155	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(賛助会員)	2	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(振興くじ)	2,259,275	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(JKA)	103,493	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(ｽｽﾞ振興)	1,051,283	
郵便振替	東京貯金事務センター(審判)	14,521,367	
郵便振替	東京貯金事務センター(積立金)	10,729	
郵便振替	東京貯金事務センター(ｽｽﾞ-ﾀｰ)	68,390	
郵便振替	東京貯金事務センター(祝賀会)	70,931	
郵便振替	東京貯金事務センター	2,018,406	
商品	賞状、テキスト、代表応援グッズ他	3,610,052	
未収入金	スポーツ振興助成金他	5,225,390	
流動資産合計			31,098,859
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	大会用コート	1	
ソフトウェア	システム開発費	12,250	
保証金	事務局	414,000	
その他固定資産合計		426,251	
固定資産合計			426,251
資産合計			31,525,110
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	事務局経費、春大会分他	2,740,356	
前受金	2018年度会費他	646,160	
預り金	源泉税他	88,296	
未払法人税等		70,000	
未払消費税		523,900	
流動負債合計			4,068,712
負債合計			4,068,712
正味財産			27,456,398

貸借対照表総括表

2018年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	22,263,417	0	0	22,263,417
商品	3,610,052	0	0	3,610,052
未収入金	2,798,390	2,427,000	0	5,225,390
流動資産合計	28,671,859	2,427,000	0	31,098,859
2. 固定資産				
(1) その他固定資産				
工具器具備品	0	1	0	1
ソフトウェア	12,250	0	0	12,250
保証金	414,000	0	0	414,000
その他固定資産合計	426,250	1	0	426,251
固定資産合計	426,250	1	0	426,251
資産合計	29,098,109	2,427,001	0	31,525,110
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	1,283,090	1,457,266	0	2,740,356
前受金	646,160	0	0	646,160
預り金	88,296	0	0	88,296
未払法人税等	70,000	0	0	70,000
未払消費税	523,900	0	0	523,900
元入金	△ 25,793,325	18,995,843	6,797,482	0
流動負債合計	△ 23,181,879	20,453,109	6,797,482	4,068,712
負債合計	△ 23,181,879	20,453,109	6,797,482	4,068,712
III 正味財産の部				
1. 一般正味財産	52,279,988	△ 18,026,108	△ 6,797,482	27,456,398
正味財産合計	52,279,988	△ 18,026,108	△ 6,797,482	27,456,398
負債及び正味財産合計	29,098,109	2,427,001	0	31,525,110

損益計算書（正味財産増減計算書）総括表

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益				
事業収益	3,615,148	7,580,000	0	11,195,148
登録料収益				
チーム登録料収益	4,419,000	0	0	4,419,000
受取会費				
協会員受取会費	28,025,000	0	0	28,025,000
役員等受取会費	660,000	0	0	660,000
加盟協会料収益				
加盟協会料収益	2,400,000	0	0	2,400,000
スポンサー料収益				
スポンサー料収益	7,287,334	1,188,000	0	8,475,334
販売収益				
販売収益	13,956,370	1,973,000	0	15,929,370
検定料収益				
公認球検定料収益	1,166,400	0	0	1,166,400
手数料収益				
手数料収益	1,474,611	111,620	0	1,586,231
受取補助金等				
受取助成金	100,000	4,103,000	0	4,203,000
雑収益				
雑収益	771,907	41,678	0	813,585
経常収益計	63,875,770	14,997,298	0	78,873,068
(2) 経常費用				
事業費				
謝金	442,137	205,000	0	647,137
旅費交通費	4,576,834	4,899,792	0	9,476,626
宿泊費	982,787	2,599,652	0	3,582,439
事業支援費	18,185,500	0	0	18,185,500
貸借リース料	85,820	1,253,860	0	1,339,680
制作費	3,447,933	3,175,700	0	6,623,633
用具費	153,823	717,288	0	871,111
通信運搬費	174,423	1,736,870	0	1,911,293
印刷製本費	3,047,441	750,845	0	3,798,286
事業消耗品費	1,639,838	1,544,843	0	3,184,681
事業雑費	528,871	466,826	0	995,697
管理費				
給与手当	7,737,608	0	0	7,737,608
通勤費	452,884	0	0	452,884
法定福利費	1,128,404	0	0	1,128,404
福利厚生費	72,960	0	0	72,960
賃借料	3,282,997	0	0	3,282,997
リース料	209,952	0	0	209,952
旅費交通費	1,208,260	0	0	1,208,260
通信費	406,306	0	0	406,306
運賃	827,727	0	0	827,727
発送業務委託費	69,392	0	0	69,392
消耗品費	422,096	0	0	422,096
顧問料	1,000,000	0	0	1,000,000
業務委託費	642,600	0	0	642,600
会議費	16,500	0	0	16,500
接待交際費	334,441	0	0	334,441
水道光熱費	339,456	0	0	339,456
諸会費	466,000	0	0	466,000
租税公課	996,700	0	0	996,700
減価償却費	73,500	0	0	73,500
雑費	324,051	0	0	324,051
経常費用計	53,277,241	17,350,676	0	70,627,917
当期経常増減額	10,598,529	△ 2,353,378	0	8,245,151
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	10,598,529	△ 2,353,378	0	8,245,151
税引前当期一般正味財産増減額	10,598,529	△ 2,353,378	0	8,245,151
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	10,528,529	△ 2,353,378	0	8,175,151
一般正味財産期首残高	41,751,459	△ 15,672,730	△ 6,797,482	19,281,247
一般正味財産期末残高	52,279,988	△ 18,026,108	△ 6,797,482	27,456,398
II 正味財産期末残高	52,279,988	△ 18,026,108	△ 6,797,482	27,456,398

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2018年 6 月 11 日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 畑 敬 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2017年度(自2017年4月1日至2018年3月31日)の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2018年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2018年 6月 15日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事

山田



私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2017年度（自2017年4月1日至2018年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2018年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上